

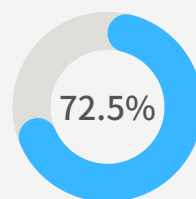
新型コロナ後遺症を防ぐには、

基本的な感染対策の継続やワクチン接種で、感染しない・重症化しないことが有効です。

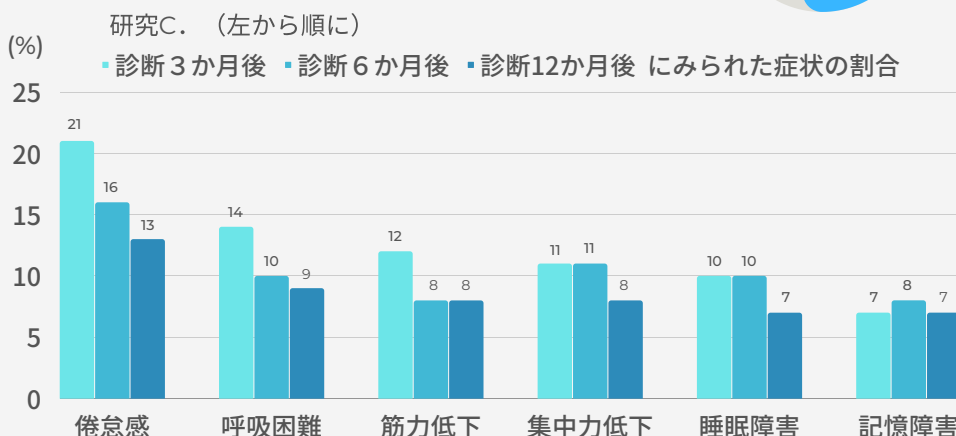
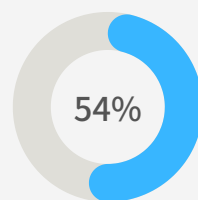
新型コロナウイルスに感染すると、
数か月以上にわたって
さまざまな症状※が続くことがあり、
罹患後症状や後遺症と呼ばれています。

※疲労感、倦怠感、息苦しさ、睡眠障害、不眠、
思考力・集中力低下、記憶障害、抑うつ、筋力低下、
脱毛、嗅覚障害、味覚障害、咳、喀痰、頭痛、腹痛、胸痛、
関節痛、筋肉痛、下痢、動悸 等

研究A. 診断後2か月あるいは退院後1か月で
症状がみられた割合



研究B. 診断後あるいは退院後6か月以上で
症状がみられた割合



ワクチン接種により、
新型コロナ後遺症が起こりにくくなる

UK Health Security Agency. The effectiveness of vaccination against long COVID. A rapid evidence briefing, 2022

24 時間対応

098 - 866 - 2129

新型コロナ後遺症のご相談は、
沖縄県新型コロナウイルス感染症相談窓口
コールセンターをご利用いただけます。

これからの課題

新型コロナ後遺症の大半は時間の経過と
ともに改善すると考えられていますが、
どうして？いつまで？続くのかは、まだ
明らかになっておりません。

本内容は、厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症 診療の手引き 罹患後症状マネジメント 第1. 1版 (2022年6月)」をもとに作成しました。
留意点として、上記は随時、必要に応じて新たな科学的知見を取り入れ改定される予定であるため、それに伴い内容も大きく変更される可能性があります。